

## 地中海研究所活動報告

### □ 地中海文明研究会例会 □ .....

第23回例会 2006年5月13日(土) 15:00-18:00 (文学部39号館第7会議室)

(早稲田大学イタリア研究所イタリア言語・文化研究会と共催)

増田千穂「15、6世紀イタリアにおけるシビュラ像興隆の背景について」

関根浩子「アルプス南麓の近世の巡礼施設：ヴァラッロのサクロ・モンテーその「代用エルサレム」時代の形態を中心に」

### □ シンポジウム □ .....

2006年3月13日(月) 14:00-17:00 (文学部39号館第5会議室)

地中海研究所・ヨーロッパ文明史研究所共催シンポジウム

「歴史のなかの『ヒューマニズム』」

報告者

小林雅夫(早稲田大学)

和田 廣(筑波大学)

根占猷一(学習院女子大学)

曾田長人(聖学院大学)

コメンテーター

加藤守通(東北大学)

2006年11月25日(土) 13:30-17:30 (文学部34号館452教室)

地中海研究所・スペイン現代史学会共催シンポジウム

「スペイン内戦70年」

司会：川成 洋(法政大学教授)

第1部：スペイン内戦／その「歴史」と「記憶」

1. 渡部哲郎(横浜商科大学教授)「スペイン内戦／負の遺産の解消」

2. 狩野美智子(バスク史研究家)「ゲルニカ今昔」

3. 渡辺雅哉(早稲田大学講師)「フランコ独裁が封印した過去／バダホースの殺戮」

第2部：現代史のなかの1936年

4. 岩佐寿弥(映像作家)「70年後のアラゴンを訪ねて」

5. 島田顕 (法政大学講師) 「コミンテルンとスペイン内戦」
6. 讃岐敏明 (ケアマネージャー) 「オーウェルとスペイン内戦」
7. 米田綱路 (『図書新聞』編集部) 「スペイン内戦をくぐった東ドイツ出版人ヴァルター・ヤン」

□ イタリア言語・文化研究会例会 □ .....

連絡先：早稲田大学語学教育研究所内 イタリア言語・文化研究会

E-mail: <wasedaitalia@hotmail.com>

第 88 回例会 2006 年 3 月 11 日 (土) 15:00～ (戸山キャンパス 39 号館第 7 会議室)

小田原琳 「ジョヴァンニ・ヴェルガと〈南部〉の表象」

花本知子 「Antonio と Antonio—アントニオ・タブッキと父」

第 89 回例会 2006 年 5 月 13 日 (土) 15:00～ (戸山キャンパス 39 号館第 7 会議室)

増田千穂 「15、6 世紀イタリアにおけるシビュラ像興隆の背景について」

関根浩子 「アルプス南麓の近世の巡礼施設：ヴァラッロのサクロ・モンテーその「代用エルサレム」時代の形態を中心に—」

第 90 回例会 2006 年 7 月 15 日 (土) 15:00～ (戸山キャンパス 34 号館第 3 会議室)

青木洋一郎 「anni の前の数字について」

古田耕史 「レオパルディとスタール夫人—〈自然〉と〈想像力〉をキーワードに」

第 91 回例会 2006 年 10 月 7 日 (土) 15:00～ (戸山キャンパス 34 号館 452 教室)

鈴木信五 「イタリア語における情報構造の通時的再編成と接語代名詞の位置」

小野寺暁之 「ブツァーティにおけるミラノ」

第 92 回例会 2006 年 12 月 16 日 (土) 15:00～ (戸山キャンパス 33 号館第 2 会議室)

大歳剛史 「『フィローコロ』、『フィロストラト』、『テーセイダ』におけるボッカッチョの自己描写」

梶田知志 「剣闘士 (gladiator) の墓碑銘について」

## □ 地中海研究所研究員 □

研究員	小林雅夫（所長） 市川慎一 大高保二郎 遠山一郎 丸野 稔 森原 隆 酒井紀幸 宮城徳也 益田朋幸
客員研究員	篠塚千恵子（東北芸術工科大学教授） 根占献一（学習院女子大学教授） 松原俊文（早稲田大学非常勤講師） 金 昶賢（高麗大学教授） アントニオ・サルトーリ（ミラノ大学教授） ジュゼピーナ・チェルツリ（元東京イタリア文化会館館長） シュテファン・シュタイングレーバー（元東京大学教授）

### （編集後記）

「早稲田大学地中海研究所」はプロジェクト研究所として開設6年目を迎えました。苦しい資金不足にもかかわらず、なんとか『紀要第5号』の刊行を決定しました。今回の『第5号』は、地中海研究所主催のシンポジウム《歴史のなかの“ヒューマニズム”》と「古代世界研究会」のシンポジウムとの2つのシンポジウムの報告を掲載することになりました。『第5号』の刊行のためには多くの方々の援助によるものではありませんが、『第5号』の刊行は、原稿集めの混乱のなかで編集作業へのとりわけ福山佑子さんの献身的な努力によって実現できました。深く感謝します。

なお、研究所の所長は、小林雅夫から宮城徳也に交代することになっています。しかし、宮城が来年度日本を留守にすることが決まったために、もう1年間は実務作業は小林が代理・継続して担当することになりました。

小林雅夫

地中海研究所ホームページ： [http://www.waseda.jp/prj-med\\_inst/index.html](http://www.waseda.jp/prj-med_inst/index.html)